

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和6年 1月 20日

事業所名 発達支援ルームらしど

保護者等数（児童数）78 回収数 53 割合 68%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・のびのびと身体を動かしている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○			・毎回1人に対して必ず1人の先生がついて、安全面に気を付けてくれている ・専門性が高く安心できる ・どの職員にも安心して任せられる ・言語聴覚士がもっと在籍していると嬉しい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・すっきりしている
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・いつもきれいで気持ちがいい
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	○			・子どもの様子からの確かな課題を持っているし、私たちの意見も聞いてくれている ・いつも自分に無い視点からのアプローチを楽しんでくれるので感謝している ・丁寧な支援計画で個人をよく見てくれていると感じる
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・分かりやすく、子どものことをよく見てくれている支援内容だと思う ・絵カードを用いてコミュニケーションがとれるように工夫してもらっている。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	○			・毎度しっかりした目標を持ちながら工夫を凝らした楽しい活動をしてくれている ・毎回違うため新鮮 ・課題や悩みを相談すると次回のプログラムに取り入れてくれる。柔軟な対応に感謝している。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				・個別の支援なので子には該当しないかと思う
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			・分かりやすく説明してくれている	

保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	○			
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子への対応の仕方などじっくり相談に乗ってくれて、適切なアドバイスをくれるのでとても助かっている。</li> <li>・活動中の職員の子への対応を見て参考にすることも多くある。</li> <li>・その都度相談に対応してもらっている。</li> </ul>
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回最後に振り返りをきっちりしてくれている</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員があたたかく優しい</li> <li>・毎回活動の終わりにアドバイスをもらっている</li> </ul>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前に保護者の話を聞く機会を設けていただき、とても参考になった。感謝している。</li> </ul>
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談時にはとても親身になって聞いてもらい、アドバイスをもらうことができた。</li> <li>・活動の終わりに話をしてもらっている</li> <li>・相談に対して、すぐに次回の療育に取り入れてくれている</li> </ul>
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○			
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月新聞にて様々な活動や情報を知ることができている</li> </ul>
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	○			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	○			
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		○		
	22	子どもは通所を楽しみにしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしている。</li> <li>・本人の要望も聞きながら活動してくれるので毎回楽しみにしている。</li> <li>・通所を本当に楽しみにしており、その日は機嫌よく過ごしている。</li> <li>・水曜日は通所と覚えており、週の中で何度も「明日は何曜日？」と尋ねてくるほど楽しみにしているよう。</li> <li>・保育園で、今日は通所に行くことを楽しみだと友達や先生に話しているよう。</li> </ul>

満足度	23	事業所の支援に満足しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの目的が明確で、丁寧にフィードバックしてくれるところに満足している</li> <li>・実態に応じていろいろな活動を仕組んでくれているのがよくわかる。日常生活での不安や心配の相談にも乗って専門的にアドバイスしてくれるので、とてもありがたい。</li> <li>・1対1で細かくみてもらえるためとても満足している</li> <li>・いつも子どもと職員の療育をみて、子どもの反応に対しての意味を教えてもらうことで、親自身も子供への接し方を学べており感謝している。</li> <li>・日々成長を感じている。体の動かし方が上手になったり、できることが増えてきた。</li> <li>・本人が自信を持って活動できるように支援してもらい大変満足している</li> </ul>
-----	----	----------------	---	--	--

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年 1月20日

事業所名 発達支援ルームらしど

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・基本的に同時間の利用児人数を2人にしている。 ・3人になるときは遊具やスペースを相談しながら行っている。
	2	職員の配置数は適切である	○		・マンツーマンになるように配置しており、安全に配慮しながら療育を実施している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・階段を上らないと療育室までたどり着けない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・消毒や清掃を行っている
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・実施し公開している
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・第三者による外部評価は行っていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・法人単位、事業所単位などそれぞれの定期的な勉強会を実施している
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・専門的なアセスメントを実施している
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・保護者様のニーズをタイムリーに取り入れながら、活動を提供している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・なるべく行うようにしている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・必ずとはいえないが努力している
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
	開	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/		該当児なし
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/		該当児なし

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・電話や書面にて情報共有を行っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・代表者が参加している
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回療育後に保護者様にフィードバックを行っている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	・法人として就学相談会や講演会などの会を設けている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・見学時、契約時に説明している
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・毎回療育後に保護者様にフィードバックを行っている
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・月に1度新聞を配布している他、イベント等は掲示にてお知らせしている

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・鍵付きのキャビネットにて保管している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・体調不良後の来所時の確認や、普段と様子が異なるときに確認している
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/		食事の提供は行っていない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・再発防止のために情報を共有し、対応策を講じている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・研修を実施している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 令和6年 1月 20日

事業所名 発達支援ルーム らしど

保護者等数（児童数）140 回収数 79 割合 56 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			・活動スペースは少し狭いと思う時がある。大人数の時譲り合って声掛けの練習にもなっていると思う。 ・プランコで頭をぶつけそうになったので、位置をずらすなど職員の方に気をつけてもらいたい。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	○			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	○			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	○			・コミュニケーションの向上に繋がるようなプログラムを色々行っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		・参加したことがないのでわからない。 ・ないけれど、目的が違うのでなくてもこのままで大丈夫と思う。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			・こどもの様子をしっかりと見て下さり、丁寧にフィードバックしてくれる。 ・新人の職員の場合に、少し早口や内容のムラがある。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			・とても相談しやすく、親身に答えてくれる。 ・面談ではないが、フィードバック時などに丁寧に対応してもらっている。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		・就学前相談等はあるよう。 ・待ち時間に他の保護者と話せるので、支援とまではいかないが、自由にできている。 ・ないけれど、目的が違うのでなくてもこのままで大丈夫と思う。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・今、特に苦情はない。 ・該当する場面はなかった。



	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	○		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・インスタグラム紹介をよく見ている。
	14	個人情報に十分注意しているか	○		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	○		・あまり把握していない。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		・あまり把握していない。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所を心待ちにしている。</li> <li>・毎回とても楽しみにしています。</li> <li>・どんなに疲れていても、休みたくないよう。</li> <li>・他と違ってやめたいとはいわないので、好きなのだと思う。</li> </ul>
	18	事業所の支援に満足しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子共に手厚く支援してくれて、感謝している。</li> <li>・親にない視点での支援のやり方を教えてもらえるので、とても助かる。</li> </ul>

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和6年 1月 20日

事業所名 発達支援ルーム らしど

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			・ 活動内容によっては狭く感じる時もある。 ・ 個室やロフトを活用し、時間を分けたりする。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			・ 段差はないが、入口のスペースが狭く、車椅子での乗り入れは難しい。 ・ 手すりなどの設置はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			・ 上長などとの面談を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・ 事業所待合室に掲示とHPに公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・ 月1回事業所内研修と法人全体の勉強会や療育課勉強会を行っている。 ・ 感覚統合研修参加の機会も設けている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			・ 保護者との話し合いの機会は多い。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・ JSI-Rや子どもによって知能検査などのアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・ 遊びによって職員間で相談しながら考えている。（特に集団療育）
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			・ 子どもに合わせたプログラムになるようにつなぐ、楽しめる活動を個別で提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			○	・ 個別療育が多く療育時間に変更が少ないため課題設定が難しい場合もある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			・ 療育時の様子や季節・時期などに配慮しながら、集団遊びへの参加やプログラムを決めている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			・ 複数利用児がいる際は、集団の有無など後半の活動を共有／確認してプログラムの流れを決めている。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		・毎回必ずとは限らないが、療育空き時間など、時と場合によって気付きや改善点を振り返っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・療育(個別・午前集団・午後集団)によって、記録用紙を分けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		○		・相談支援事業所が中心となり行うことがほとんどである。 ・学校や家での様子は随時ヒアリングできる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○			・子どもに合わせて好きな活動を楽しむ時間も取り入れつつ、運動や製作活動も集団遊びなどに取り入れている。 ・季節の活動を取り入れることもある。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・療育を担当する頻度が多い職員、児発管が参加するようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・要望があった場合や特に午前の集団療育利用者には連携を取っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/			・該当者なし。主治医などの把握はしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			・法人内事業所の併用があれば、情報共有を行っている。 ・保護者の要望や法人の保育所等訪問支援事業の利用があれば随時行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			○	・研修受講の促しはしているが、充分とは言えない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある			○	・今までに機会はないが、障害のない子どもでも法人内の活動に参加はできる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		・地域のこども部会に可能な時は参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・毎療育後のフィードバックで話をしたり、場合によっては別日で所内相談の機会を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・毎療育後のフィードバックで話をしたり、場合によっては別日で所内相談の機会を設けている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・就学相談会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・連絡ノート等を活用している。 ・法人内事業所の併用があれば、情報を共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・新聞やInstagram、法人での活動企画のチラシなどを活用し発信している。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・子どもに合わせて、ホワイトボードでの筆談や絵カードを活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	・全日開所していることもあり、地域と関わりのある行事は行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			・月1回の虐待防止委員会を開催している。 ・法人全体での虐待防止研修も行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・特定の児に対しては保護者に許可を得て、個別支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/			食事提供なし。児童表にて把握することは可能。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事業所内での共有は必ず行い、法人内でも共有している。